

地域と連携して拓く 子ども食堂の可能性と協同組合への期待



近年、全国各地に広がった子ども食堂は、単に特定の子どもの食事を提供するといった目的ではなく、地域における食育や、様々な世代を対象とした地域の交流拠点などの多様な役割を果たすことが期待されています。

この子ども食堂もコロナ禍により活動を取り巻く環境が大きく変わりました。しかし従来の活動ができない中でも、休校中の子どもたちの居場所づくりをはじめ、お弁当や食材の配布等工夫を凝らして活動を再開する動きも見られます。

本セミナーでは、有識者による基調講演と子ども食堂の運営・協力を行っている方々からのコロナ禍における取組状況等の報告をもとに、子ども食堂の意義や展望等を探るとともに、JAをはじめとする協同組合のさらなる地域貢献について考える機会としたいと思います。

令和2年 **12月1日** (火) 14時00分～16時15分

オンライン方式

参加費：無料 (要・事前申し込み、定員250名、先着順)

報告者

基調講演：湯浅 誠氏 (社会活動家、東京大学先端科学技術研究センター特任教授、
全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長)

情勢報告：福田 いずみ (JA共済総合研究所 調査研究部 主任研究員)

事例報告：窪田 理佳氏 (高知県農業協同組合 女性部 南国市地区 大篠支部長)

前田 誠也氏 (東京中央農業協同組合 組織広報室 室長)

参加方法

11月19日(木)までに、当研究所ウェブサイト (<http://www.jkri.or.jp>) のお申し込みフォームに、お名前、ご所属、電話番号、e-mailをご記入の上、お申し込みください。お申し込みをいただいた方には、後日招待メールをお送りいたします。

定員250名に達し次第、申込みを締め切ります。

主催：一般社団法人JA共済総合研究所 (<http://www.jkri.or.jp/>)

プログラム

開会（14：00）

開会挨拶 内藤 邦男 （JA 共済総合研究所 理事長）

基調講演 **多世代交流拠点としてのこども食堂 ～コロナの「教訓」を踏まえて～**
湯浅 誠 氏 （社会活動家
東京大学先端科学技術研究センター特任教授
全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長）

情勢報告 **JAによる子ども食堂の展開と今後の期待**
福田 いずみ （JA 共済総合研究所 調査研究部 主任研究員）

事例報告① 窪田 理佳 氏 （高知県農業協同組合 女性部 南国市地区 大篠支部長）

事例報告② 前田 誠也 氏 （東京中央農業協同組合 組織広報室 室長）

質疑応答 湯浅 誠 氏 （再掲）
窪田 理佳 氏 （再掲）
前田 誠也 氏 （再掲）
福田 いずみ （再掲）

総括 福田 いずみ （再掲）

閉会挨拶 有長 光司 （JA 共済総合研究所 専務理事）

閉会（16：15）

※プログラムは変更になる場合があります。

お問い合わせ先

一般社団法人 JA 共済総合研究所 調査研究部（担当：上田・阿部山）

TEL:03-3262-9658

FAX：03-3262-9667

E-mail：seminar@jkri.or.jp

●個人情報の取扱いについて

お申込みいただいたお名前、ご所属等の個人情報は、お申込みいただいたセミナーに関する業務連絡のみに使用し、他の目的には一切使用しません。